

アカウント設計ワークシート

上から順に書き込むと「だれが・だれに・なにを」の軸とプロフィール文章が完成します。
薄い文字は記入例です。自分の言葉に書き換えてください。

記入日

お名前

STEP 1 発信内容と想い

思いつくものは**全部書き出してOK**。ここで広げて、STEP3でひとつに絞ります。

Q1 発信したい内容 / 複数あればあるだけ

例) 流山おおたかの森の新しいお店、子連れで行ける場所、イベント、手続きの情報

Q2 発信を通じてどうなりたい？

例) 「おおたかの森のことならこの人」と相談される存在になりたい

Q3 なぜその発信をしたい？

例) 引っ越してきたとき、街の情報がまとまっている場所がなかったから

Q4 きっかけになった出来事は？

例) 越してきた当初、住所変更をどこでできるかも分からず困った

STEP 2 ターゲット

「みんなに」ではなく**具体的な1人**に届けると、その周りにも届きます。**過去の自分**を思い浮かべるとネタが尽きません。

Q5 どんな人に届いてほしい？

例) 流山おおたかの森に住んでいる人、遊びに来た人

Q6 届いた人にどうなってほしい？

例) 街のことを知って、休日の行き先に迷わなくなってほしい

Q7 その人にどんな情報が必要？

例) 新しくできたお店、子連れOKのお店、役所の手続きの場所

Q8 浮かんだ具体的な人物は？ / いれば誰

例) 引っ越してきたばかりの頃の自分

STEP 3 アカウント設計（軸）

STEP1・2をふまえて1行ずつ

目指すのは「無印良品」。だれに聞いても同じイメージが返ってくる、「〇〇と言ったらあなた」の状態です。

WHO / **だれが**

例) 流山おおたかの森に住む

TO WHOM / **だれに**

例) 流山おおたかの森の人に

WHAT / **なにを**

例) 流山おおたかの森の情

あなたのアカウントをひと言で

〇〇が、〇〇に、〇〇を届けるアカウント

5秒で74%が離脱します。数字を使う・専門用語を使わない・ダラダラ書かない・体言止め。1行の目安は**15文字**です。

1 キャッチコピー

例) おおたかの森の「今」がわかる

2 どんなアカウントか？

例) 地元パパの街ガイド

3 フォローするメリット

例) 新店・子連れOKの店を毎日紹介

4 それを裏付ける根拠

例) 取材したお店〇〇軒以上

5 共感要素 / 親近感・人柄が伝わる一言

例) 休日は子どもと公園めぐり

ユーザーネームと名前には、フォローしてほしい人が**検索しそうな言葉**を入れます。大事なことは「**続きを読む**」より上に。

アイコン

写真を選ぶ

コンセプトに合う顔写真がおすすめ

ユーザーネーム

／英数字。単語は_で区切る

@ 例) otaka_papa_guide

表示名

／②どんなアカウントかを活かす

例) おおたかの森パパ | 地元の街ガイド

プロフィール文

／STEP4の1～5を箇条書きで4行

例) おおたかの森の「今」がわかる

例) 新店・子連れOKの店を毎日紹介

例) 取材したお店〇〇軒以上

例) 休日は子どもと公園めぐり

リンク

例) lit.link/xxxx